

第三者評価結果（乳児院）

種別	乳児院
----	-----

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人きょうと福祉ネットワーク一期一会

②評価調査者研修番号

SK18140
26-044
第22福祉7

③施設名等

名称	峰山乳児院
施設長氏名	楢田恵理子
定員	20名
所在地(都道府県)	京都府
所在地(市町村以下)	京丹後市峰山町杉谷952-8
T E L	0772-62-1251
U R L	https://www.mineyama-fukusikai.jp/theme7.html
【施設の概要】	
開設年月日	1950/11/1
経営法人・設置主体(法人名等)	社会福祉法人みねやま福祉会
職員数 常勤職員	29名
職員数 非常勤職員	3名
有資格職員の名称(ア)	社会福祉士
上記有資格職員の人数	1名
有資格職員の名称(イ)	保育士
上記有資格職員の人数	17名
有資格職員の名称(ウ)	看護師
上記有資格職員の人数	3名
有資格職員の名称(エ)	栄養士
上記有資格職員の人数	3名
有資格職員の名称(オ)	臨床心理士
上記有資格職員の人数	1名
有資格職員の名称(カ)	その他(調理員・社会福祉主事等)
上記有資格職員の人数	3名
施設設備の概要(ア)居室数	乳児室2室、幼児室2室
施設設備の概要(イ)設備等	地域交流ホール、心理療法室、親子訓練室等
施設設備の概要(ウ)	
施設設備の概要(エ)	

④理念・基本方針

児童福祉の理念に基づき、子どもの権利を守り、最善の利益に配慮した援助を行う。

⑤施設の特徴的な取組

<p>社会福祉法人みねやま福祉会は、昭和25年に法人を設立して以降、京丹後市域において障害児・者から高齢者までさまざまな福祉ニーズに応え総合福祉施設として事業展開をされています。「創設の理念」(私たちの願い)を大切にされ、創設よりの思いを明文化するとともに理事長から新人研修や中堅者にも繰り返し継続的に職員に伝えていきます。</p> <p>また、法人として「きょうと福祉人材認育成認証上位認証」を取得されており、人材核の・定着及び研修体系やキャリアパス制度の構築、資格取得支援や産休・育休取得支援などにも力を入れています。</p> <p>峰山乳児院は、養育環境の小規模化整備にともない平成30年2月2日に新築移転をしました。乳児から幼児までの子どもたちが4つのユニットにわかれ、家庭的な環境の中で、安心して生活する家(事業所)です。特徴的な取組としては、家庭状況、発達等個別性を重視し、適切な関わりの中で愛着関係を築くことなど、自分が十分に受け止められていると感じる養育を行っています。併設されたてらす峰夢と連携し、養育の継続性も大切にしています。また、子ども達をそれぞれの家庭から切り離すことなく、家庭支援にも努め、里親委託も含めて早期に家庭復帰ができるように取り組んでいます。</p> <p>地域との交流や地域の子どもの為の事業など地域貢献にも積極的に取り組んでおり、地域住民、関係機関等と連携を図る中で、地域の重要な拠点として、信頼される施設となっています。</p>
--

⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間（ア）契約日（開始日）	2019/8/1	
評価実施期間（イ）評価結果確定日	2020/12/24	
前回の受審時期（評価結果確定年度）	平成29年度	

◆特に評価の高い点

【14 福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。】

法人内に人材確保チーム「スキッパー」を組織して、人材確保に取り組んでいる。中期経営計画に人材確保の方針が明確化されています。必要な職員像については、研修計画（「研修体系図」）等で明確にしており、資格保有者（保育士、社会福祉士など）を計画的に採用するようにしています。また、ホームページで動画を作成し、広報を強化しています。

【地域との交流、地域貢献】

日常的な近隣住民とのコミュニケーションのほか、事業所として地域の子どもが集まる「おひさまひろば」を実施し、地域の子ども達との交流の機会を設けています。施設の子どもであると分からないように子どもと職員がペアを組んで、通常の親子のように見える工夫をしながら参加するようにしています。児童部門として、「ユウカリ子ども園」を窓口にし、こどもの貧困対策を行ったり、まちづくりとして、「夜の市」を行っています。また、産前産後事業は、制度がない時代より取り組み、制度化されたものとして継続して取り組んでいます。

【親子関係の再構築支援等】

面会時等に離乳食の作り方や食べさせ方、入浴方法の指導などの養育スキルの向上の支援をしています。面会に来ることができない保護者には、写真や手書きのお手紙で様子を伝えるようにしています。また、親子で宿泊するなどして、段階的に自宅でも養育できる環境を作り、帰宅支援をしています。

◆改善を求められる点□

【19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。】□

新任職員育成計画を整備し、段階を踏んで学ぶ仕組みとなっており、習熟段階を指導者である職員全員で把握できるように明確化しています。外部研修に関する情報提供を行うとともに参加できるように配慮されています。しかし、スーパービジョンを受ける仕組みや外部委託等ができていませんでした。

【33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。】

グループ会議、職員会議の場で子どもの満足度について、話し合いは行っていますが、記録には落とし込んでいませんでした。また、保護者にはアンケート調査にて意向の把握に努めていますが、その結果を分析・検討する場や機会がありませんでした

【39 災害時における子供の安全確保のための取組を組織的に行っている。】

年間で様々な事態を想定（地震対応の訓練、水害時の対応、防犯対策など）した避難訓練を実施しています。年1回は、消防署立ち合いのもとで訓練を行っています。火災発生時には緊急時に機械的に一斉発信ができる仕組みがあり、それとは別に連絡網をつくり、連絡体制を整備しています。しかし、発生時において支援を継続するためのかき、BCP（事業継続計画）については現在検討中であり作成には至っていませんでした。

【A17 乳幼児と保護者等に必要な心理的支援を行っている。】

公認臨床心理士を配置しており、心理的ケアが必要な乳幼児への心理支援を行っている。保護者への心理的ケアについては必要があれば、外部の専門家に相談できる連携体制はあるが十分でないと感じています。

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

新築移転(平成30年2月)後、初めての受診でした。旧施設では取り組みが困難であった小規模グループケアの実践や親子訓練室の新設により庭復帰プログラム・里親委託前の支援等も実施しやすくなりました。養育環境とともに地域子育て支援のための環境も整い歩みを続けています。

今回、高い評価をいただいた項目については、継続した取り組みで姿勢を維持し、改善を求められた点については、計画的に改善を進めていきます。施設の運営管理はもとより子どもたちへの適切な養育・支援が実践できるように職員のスキルアップや意識の統一を図り組織の力を高めていきたいと思ひます。また、乳児院として果たすべき社会的役割をしっかりと見定め、求められている高機能化・多機能化への歩みを進めていきたいと思ひます。

第三者評価結果（乳児院）

共通評価基準（45項目）Ⅰ 養育・支援の基本方針と組織

1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	第三者 評価結果
① 1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。 <input type="checkbox"/> 理念、基本方針が法人、施設内の文書や広報媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。 <input type="checkbox"/> 理念は、法人、施設が実施する養育・支援の内容や特性を踏まえた法人、施設の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。 <input type="checkbox"/> 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。 <input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。 <input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、保護者等への周知が図られている。 <input type="checkbox"/> 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。	a ○ ○ ○ ○ ○ ○
【判断した理由・特記事項等】 理念、基本方針は明文化し、ホームページで公表している。法人の理念に基づいて、事業計画を立案しており、法人理念・事業方針・事業運営方針をふまえて事業所毎の事業計画を策定し、ホームページや職員室に掲示している。年度初めには、職員に会議、研修等で周知している。新人研修でも新人職員に理事長より説明している。中級者にも繰り返し、理事長より伝える機会を設けている。「創設の理念」（私たちの願い）を明文化しており、創設よりの思いを職員に伝えている。入所時及び4月の便りで伝えている。一時保護の保護者には、児童相談所を通しての利用となるため、保護者と会わないこともあり、入所時に説明している。	

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	第三者 評価結果
① 2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。 <input type="checkbox"/> 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。 <input type="checkbox"/> 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。 <input type="checkbox"/> 子どもの数・子ども像等、養育・支援のニーズ、潜在的に支援を必要とする子どもに関するデータを収集するなど、施設(法人)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。 <input type="checkbox"/> 定期的に養育・支援のコスト分析や施設入所を必要とする子どもの推移、利用率等の分析を行っている。	a ○ ○ ○ ○
【判断した理由・特記事項等】 全国経営協やワムネット、全国児童施設協議会からのニュースで全国の動向等情報収集をしている。市町の計画に乳児院の施設長が出席しており、地域の状況を把握している。要保護児童対策地域協議会に施設長が参加をしており、情報収集ができています。法人内で各分野のプロジェクトがあり、分野ごとの課題について、検討・分析をする機会がある。また、事業計画で前年度の評価をし、課題抽出後に次年度の計画を立案している。月1回児童部門プロジェクト会議を開催し、他部門も集まる施設長会議で共有している。	
② 3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。 <input type="checkbox"/> 経営環境や養育・支援の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。 <input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。 <input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。 <input type="checkbox"/> 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。	a ○ ○ ○ ○
【判断した理由・特記事項等】 児童部門の経営課題として、専門機能強化と多機能化に取り組んでいる。専門職の研修やグループリーダーの養成を計画的にしている。目標に対して、新たな職域や産後ケアの研修派遣など、多機能化に向けた人材育成を行っている。財務の面からは、バランスシートの作成をしっかりと行い、子どもの最善の利益を考えつつ、稼働率や入隊所の状況を把握しながら、経営面を意識するようにしている。稼働率状況など経営に関する方針などは月1回の職員全員が出席している職員会議で職員に周知している。	

3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	第三者 評価結果
<p>① 4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。</p> <p><input type="checkbox"/> 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。</p> <p><input type="checkbox"/> 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。</p>	<p>a</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
【判断した理由・特記事項等】	
<p>「これからの施設の計画」という施設計画の基本的な考えを基にして、乳児院として、中長期計画を立案している。それを具体的にしたものとして、国が示す書式を用いて「家庭的養護推進計画」を立てている。「家庭的養護推進計画の見直しに係る基礎資料」で評価している。また、みねやま福祉会としての中長期計画がある。</p>	
<p>② 5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 単年度の計画(事業計画と収支予算)に、中・長期計画(中・長期の事業計画と中・長期の収支計画)の内容が反映されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 単年度の計画は、実行可能な具体的な内容となっている。</p> <p><input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。</p> <p><input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。</p>	<p>a</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
【判断した理由・特記事項等】	
<p>中長期計画を踏まえた単年度の事業計画を事業所として立案し、毎月、「現況報告」を作成し、中間の振り返りも行っている。</p>	

(2) 事業計画が適切に策定されている。

①	6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。	○
	<input type="checkbox"/> 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。	○
	<input type="checkbox"/> 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)されており、理解を促すための取組を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

ユニット会議(グループ会議)→リーダー会議があり、事業計画の見直しやまとめはリーダー会議で行っている。事業計画は、半期で振り返りを行い、後半に向けての計画の見直しをしている。事業計画は全て職員に配布をしている。

②	7 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容が、保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画については、保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

保護者には、「乳児おたより」を用いて、事業計画の内容を分かりやすく伝える工夫をしている。保護者会をつくることは、施設の性質上難しいため、保護者アンケートを実施している。

4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。

第三者
評価結果

①	8 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b
	<input type="checkbox"/> 組織的にPDCAサイクルにもとづく養育・支援の質の向上に関する取組を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析・検討する場が、施設として位置づけられ実行されている。	

【判断した理由・特記事項等】

グループ会議、リーダー会議、事業計画の見直しやまとめはリーダー会議で行っている。事業計画は、半期で振り返りを行い、後半に向けての計画の見直しをしている。事業計画は全て職員に配布をしている。しかし、それを分析・検討をする場までは設けられていない。

②	9 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員間で課題の共有化が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。	
	<input type="checkbox"/> 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

自己評価を実施して課題を明確化しているが、それを活用した計画的な評価、見直しまでは行えていない。

II 施設の運営管理

1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。	第三者 評価結果
<p>① 10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。</p> <p><input type="checkbox"/>施設長は、自らの施設の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。</p> <p><input type="checkbox"/>施設長は、自らの役割と責任について、施設内の広報誌等に掲載し表明している。</p> <p><input type="checkbox"/>施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/>平常時のみならず、有事(事故、災害等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。</p>	<p>a</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
<p>【判断した理由・特記事項等】</p> <p>「職務分掌表」を整備しており、自らの役割と責任を明確にしている。ホームページで施設長の責任を対外的に明確化している。リーダー会議など、職員会議に施設長は参加している。</p>	
<p>② 11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。</p> <p><input type="checkbox"/>施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。</p> <p><input type="checkbox"/>施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。</p>	<p>a</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
<p>【判断した理由・特記事項等】</p> <p>経営協、ワムネットより情報収集するとともに、研修に参加をしている。本部から各事業所に情報提供する仕組みがある。新しい法令(働き方改革など)についての情報は、職員会議などで伝えている。規程集を事務所に備えており、職員がいつでも見ることができるようにしている。「サイボウズ」を活用し、法令のリストなどを見ることができるようにしている。物品などは法人として経理規定に定めた手順で購入する仕組みがある。</p>	

(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。

①	12 養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。	<input type="radio"/>
	(各種別共通) <input type="checkbox"/> 施設長は、職員の模範となるように、自己研鑽に励み、専門性の向上に努めている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

施設長は、職員会議に積極的に参加をし、アドバイス等行っている。年2回、職員面談を実施している。多機能化、専門性の向上を踏まえた研修等に職員を派遣するようにしている。

②	13 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、施設(法人)の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、施設内に同様の意識を形成するための取組を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

基準となる人員配置以上の配置を行っている。「総合品質管理組織」を法人内に設置し、人材、品質、地域開発の三つの視点から分析を行い、改善に向けた取り組みを行っている。業務の省力化として、記録をシステム活用をするなどして改善に取り組んでいる。人員確保や配置転換を含めて継続して法人で勤務できるように配慮している。夜勤ができなくても勤務継続ができるような配慮もしている。

2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	第三者 評価結果
<p>① 14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。</p> <p><input type="checkbox"/> 養育・支援に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 計画にもとづいた福祉人材の確保や育成が実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設(法人)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。</p> <p>(5種別共通)</p> <p><input type="checkbox"/> 各種加算職員の配置に積極的に取り組み、人員体制の充実に努めている。</p>	<p>a</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
【判断した理由・特記事項等】	
<p>法人内に人材確保チーム「スキッパー」を組織して、人材確保に取り組んでいる。中期経営計画に人材確保の方針が明確化されている。必要な職員像については、研修計画(「研修体系図」)等で明確にしておき、資格保有者(保育士、社会福祉士など)を計画的に採用するようにしている。きょうと福祉人材育成認証の上位認証を取得している。ホームページで動画を作成し、広報を強化している。</p>	
<p>② 15 総合的な人事管理が行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> 法人、施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にし、職員自らが将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みができています。</p> <p><input type="checkbox"/> 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。</p> <p><input type="checkbox"/> 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。</p>	<p>a</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
【判断した理由・特記事項等】	
<p>人事考課制度を導入しており、キャリアパス制度と連動するとともに職務の成果や貢献度を評価している。個人の目標管理を行い、自己評価後に考課者が評価をし、面談をする仕組みがある。職員アンケートを行い、職員の意見を把握するようにしている。ステップアップ休暇やパースデー休暇(有給の連休)を設け、対象者には必ず取得するようにしている。組織風土診断を毎年、法人として取り組んでおり、各施設の評価、分析結果が出るため、それを踏まえて勤務改善につなげている。</p>	
<p>(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。</p> <p>① 16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/> 職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。</p> <p><input type="checkbox"/> 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。</p> <p><input type="checkbox"/> 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の相談窓口を施設内に設置するなど、職員が相談しやすいような仕組みの工夫をしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 改善策については、人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。</p> <p><input type="checkbox"/> 福祉人材の確保、定着の観点から、施設の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。</p>	<p>a</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
【判断した理由・特記事項等】	
<p>職員の就業状況は事業所でまとめ、法人に提出し分析などを行い必要に応じ対応を行っている。新人職員の育成には、OJTの仕組みがあり、個別に面談をする機会がある。職員の子育て支援に取り組んでおり、超勤時間の削減、軽減や産前産後休暇取得や短時間制度を設けている。京都市民間社会福祉施設共済会に加入するとともに互助会の制度がある。共済会にあるメンタルヘルスの窓口を職員に周知している。</p>	

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

①	17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。	○
	<input type="checkbox"/> 個別面接を行う等施設の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標(目標項目、目標水準、目標期限)が明確かつ適切に設定されている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

職員個々人の研修計画や研修履歴をしっかりと作成しており、一人ひとりにファイルをつくり、研修内容や報告が綴じてある。それを他の職員と共有できるように、職員室に配置し、閲覧できるようにしている。職員の研修目標や計画の進捗を管理する仕組みがある。

②	18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設が目指す養育・支援を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。	○
	<input type="checkbox"/> 現在実施している養育・支援の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、施設が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。	○
	<input type="checkbox"/> 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に計画の評価と見直しを行っている。	○
<input type="checkbox"/> 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。	○	

【判断した理由・特記事項等】

外部研修、階層別研修、児童部門研修が整備されている。事業計画に外部研修についての一覧、内部研修の一覧を明記して計画的に受講している。その他に法人の研修も計画されている。

③	19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	b
	<input type="checkbox"/> 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。	○
	<input type="checkbox"/> 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。	○
(5種別共通)		
<input type="checkbox"/> スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性や施設の組織力の向上に取り組んでいる。		

【判断した理由・特記事項等】

新任職員育成計画を整備し、段階を踏んで学ぶ仕組みとなっており、習熟段階を指導者である職員全員で把握できるように明確化している。職員が参加したいと申し出があった研修についても業務で参加してもらっている。しかし、スーパービジョンを受ける仕組みや外部委託等ができていない。

(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

①	20 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a
	<input type="checkbox"/> 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。	○
	<input type="checkbox"/> 実習生等の養育・支援の専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。	○
	<input type="checkbox"/> 指導者に対する研修を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

実習生受入マニュアルを整備している。実習生の受入を積極的に行っており、社会福祉士、保育士実習の受入をしている。基本的には泊まり込み実習としている。それぞれの実習カリキュラムを組み、学校と連携しながら指導をしている。京都施設実習連絡協議会の研修を指導者が受講している。

3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。

第三者
評価結果

①	21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> ホームページ等の活用により、法人、施設の理念や基本方針、養育・支援の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公開している。	○
	<input type="checkbox"/> 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公開している。	○
	<input type="checkbox"/> 法人、施設の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人、施設の存在意義や役割を明確にするように努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域へ向けて、理念や基本方針、施設で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。	○

【判断した理由・特記事項等】

ホームページで基本方針や運営内容、第三者評価結果、苦情等の改善・対応状況等の公開を発信している。ブログやFacebookなどを多様に活用して、情報発信を行っている。PR動画を作成し、見学者や地域の方の施設の取り組み紹介や施設の理解をってもらうようにしている。「おひさま広場」などの広報誌を発行している。

②	22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)における事務、経理、取引等に関するルール、職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)の事業、財務について、外部の専門家による監査支援等を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 外部の専門家による監査支援等の結果や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。	○

【判断した理由・特記事項等】

法人内の監事による内部監査を実施している。法人の経理については会計監査人を導入しており、外部専門家による監査を受けている。事務分掌や経理規定を整備し、職員にも周知している。1万円以上で新規で購入するものについてやその他の物品購入に関しては、物品購入依頼書を提出してもらうようにしている。

4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。	第三者 評価結果
<p>① 23 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。</p> <p><input type="checkbox"/> 子どもの個別的状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設や子どもへの理解を得るために、地域の人々に向けた日常的なコミュニケーションを心がけている。</p> <p><input type="checkbox"/> 子どもの買い物や通院等日常的な活動についても、定型的でなく個々の子どものニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。</p>	<p>a</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
<p>【判断した理由・特記事項等】 事業計画に地域との交流について明記している。「おひさまひろば」を実施し、地域の子ども達との交流の機会を設けている。京丹後市で開催される行事などには、職員がボランティアで参加するなどしている。施設の子どもであると分からないように子どもと職員がペアを組んで、通常の親子のように見える工夫をしながら参加するようにしている。施設として、自治会に参加をしている。</p>	
<p>② 24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。</p> <p><input type="checkbox"/> ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。</p> <p><input type="checkbox"/> 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化して取り組んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/> ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。</p> <p><input type="checkbox"/> ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。</p>	<p>a</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
<p>【判断した理由・特記事項等】 「ボランティア受入マニュアル」を整備している。福祉体験（中学生）、職場体験（高校生）の受入を行っている。民生委員が「おひさまひろば」にボランティアとして参加している。</p>	
<p>(2) 関係機関との連携が確保されている。</p> <p>① 25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> 当該地域の関係機関・団体について、個々の子どもの状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。</p> <p><input type="checkbox"/> 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/> 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 地域に適切な関係機関・団体がない場合には、子どものアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。</p>	<p>a</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
<p>【判断した理由・特記事項等】 児童相談所、要保護児童対策地域協議会、民生委員、子育て支援ネットワーク等と取り組みに応じた連携を図っている。「関係機関社会資源」として一覧を作成し、マニュアル集に整備している。</p>	
<p>(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。</p> <p>① 26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設（法人）が実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流活動などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。</p>	<p>a</p> <p>○</p>
<p>【判断した理由・特記事項等】 地域で行われていた昼間の行事である、子どもの遊び場をみねやま福祉会の職員が引き継いで担い、「夜の市」として実施をしている。地域住民との交流活動やニーズに応えている。</p>	

②	27 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。	○
	<input type="checkbox"/> 多様な機関等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)が有する養育・支援に関するノウハウや専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている。	○
【判断した理由・特記事項等】		
児童部門として、「ユウカリ子ども園」を窓口にし、こどもの貧困対策を行っている。乳児院としては、「おひさまひろば」を行っている。まちづくりとして、「夜の市」を行っている。法人として「ショートステイ事業」「子育て講演会」などを行っている。産前産後事業は、制度がない時代より取り組み、制度化されたものである。AEDを配置していることを外部に知らせるようにしている。防災士に施設にきてもらい、リスク委員会と衛生委員会で備蓄の量や地域の子どもの避難場所について相談をしている。福祉避難所を目指している。防災バーベキューを実施して地域で集まる機会を作ることを検討している。		

Ⅲ 適切な養育・支援の実施

1 子ども本位の養育・支援

(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。	第三者 評価結果	
①	28 子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針に、子どもを尊重した養育・支援の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもを尊重した養育・支援の実施に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもを尊重した養育・支援の実施に関する基本姿勢が、個々の養育・支援の標準的な実施方法等に反映されている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、施設で勉強会・研修を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。	○
【判断した理由・特記事項等】		
全国乳児福祉協議会が示す「乳児院養育指針」に記載されている「乳児院倫理綱領」「より適切なかわりをチェックポイント」を用いてグループ会議で読み合わせを行い、職員の理解を図るとともに、具体的に子どもたちのかかわりについて話し合うようにしている。院長より、院内研修で権利擁護について研修を実施しており、全員が受講できるようにしている。(2回実施するなど工夫をしている)		
②	29 子どものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 子どものプライバシー保護について、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等を明記した規程・マニュアル等が整備され、職員への研修によりその理解が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 規程・マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した養育・支援が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守るよう設備等の工夫を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 保護者等にプライバシー保護に関する取組を周知している。	
【判断した理由・特記事項等】		
「プライバシー保護について」として明文化するとともに、マニュアル集として閲覧できるようにしている。年齢が高くなった時に異性間の興味、関心との兼ね合いで、別に入浴するようにするなど、配慮をしている。しかし、重要事項説明書による説明など、プライバシー保護についての明文化はされておらず、保護者に周知ができていない。		

(2) 養育・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。

①	30 保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	a
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針、養育・支援の内容や施設の特性等を紹介した資料を準備している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容になっている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設に入所予定の保護者等については、個別に丁寧な説明を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 見学等の希望に対応している。	○
	<input type="checkbox"/> 保護者等に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。	○

【判断した理由・特記事項等】

重要事項説明書を用いて、説明をしている。理解が難しい保護者に対しては、相談員が丁寧に説明したり、児童相談所などがある際に説明をして複数で確認するなどの工夫をしている。アンケート結果にも、説明が丁寧であるとの回答が複数あった。利用に当たっての見学者は随時受け入れている。ショートステイを利用することにより、体験をすることはできる。出産前や産後うつなどの親が見学に来ることもある。

②	31 養育・支援の開始・過程において保護者等にわかりやすく説明している。	b
	<input type="checkbox"/> 保護者等が自らの状況を可能な限り認識し、施設が行う養育・支援についてできるだけ主体的に選択できるよう、よりわかりやすくなるような工夫や配慮をして説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の開始・過程における養育・支援の内容に関する説明と同意にあたっては、保護者等の自己決定を尊重している。	
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の開始・過程においては、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。	
	<input type="checkbox"/> 意思決定が困難な保護者等への配慮についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。	

【判断した理由・特記事項等】

養育への思いや様子、乳児院の一日を伝えることができていないと認識している。自立支援計画の同意をすべての保護者から得ることができない。

③	32 養育・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の内容の変更にあたり、従前の内容から著しい変更や不利益が生じないように配慮されている。	○
	<input type="checkbox"/> 他の施設や地域・家庭への移行にあたり、養育・支援の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を退所した後も、施設として保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を退所した時に、保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。	○

【判断した理由・特記事項等】

自宅に戻る際には、現況や手書きでの手紙を渡し、継続性に配慮した対応をしている。「退所の手続き」についてマニュアルで整備しており、施設への措置入所時には、「現在状況」という書式を作り、食事や排せつなどの状況が分かるようにして申し送るようにしている。退所後には、相談員が定期的に家庭訪問をするようにしている。

(3) 子どもの満足の向上に努めている。

①	33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 子どもとの日々の関わりのなかで、子どもの満足を把握するように努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員等が、保護者等とのコミュニケーションを可能な範囲で図り、定期的に保護者等の満足を把握している。	○
	<input type="checkbox"/> 把握した子どもの満足を集約する担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために検討会議の設置等が行われている。	
	<input type="checkbox"/> 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。	

【判断した理由・特記事項等】

グループ会議、職員会議の場で子どもの満足度について、気づきについてなど主任より話すことがあるが、記録には落とし込めていない。保護者にはアンケート調査にて意向の把握に努めているが、その結果を分析する機会がない。子どもの年齢が高くなった分、子どもが主体的に意見を出し合う機会を設けどのように過ごすのが良いのかを考える委員会を作りたいと考えている。

(4) 保護者等が意見等を述べやすい体制が確保されている。

①	34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の実施等から生じた苦情に適切に対応することは責務であることを理解し、苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を保護者等に配布し説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情内容に関する検討内容や対応策、解決結果等については、保護者等に必ずフィードバックするとともに、苦情を申し出た保護者等のプライバシーに配慮したうえで、公開している。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情相談内容にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。	○

【判断した理由・特記事項等】

「利用者の意見・要望等の苦情解決実施要綱」をマニュアルとして整備している。「苦情窓口の設置について」を明文化し、保護者への周知や玄関での掲示を行っている。意見箱を設置している。保護者が意見が出しやすいように、面会時に記名するファイルに「苦情カード」を挟み、筆記用具をつけて意見が出しやすいようにしている。苦情相談対応の内容について、ホームページに公表している。

②	35 保護者等が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a
	<input type="checkbox"/> 保護者等が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。	○
	<input type="checkbox"/> 保護者等に、その文書の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。	○

【判断した理由・特記事項等】

苦情相談窓口を明確化し、入所時に渡す書類に明記している。面会時には、保護者とコミュニケーションを取り、相談しやすい環境を作っている。面会できるスペースを必要に応じて確保している。意見箱を設置している。

③	36 保護者等からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a
	<input type="checkbox"/> 職員は、日々の養育・支援の実施において、保護者等が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 意見箱の設置、アンケートの実施等、保護者等の意見を積極的に把握する取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 意見等にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

「利用者の意見・要望等の苦情解決実施要綱」を整備している。苦情があった場合は、受付担当者が報告書を記載し、苦情受付者を通じて、院長に報告する仕組みとなっている。その後、当事者に回答ができるようにしている。相談員やその日のリーダーが保護者の対応をするため、適切に行えるようにしている。

(5) 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。

①	37 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a
	<input type="checkbox"/> リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネジャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

マニュアル集の中にリスクマネジメントの項目があり、「危機管理体制」があり、責任者を明確にしている。事故発生時には、事故報告書を記載してリスクマネジメント委員会で対策を検討し、職員に共有している。職員会議でヒヤリハットの項目を設け、検討をしている。新人研修で、リスクマネジメントとして、研修を行っている。ヒヤリハット報告が多く出されており、内容について、リスクマネジメント委員会担当者より、コメントをつけている。マニュアル見直しの規定を設けている。

②	38 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し職員に周知徹底するとともに、定期的に見直ししている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防策が適切に講じられている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 感染症が発生した場合には対応が適切に行われている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

マニュアル集にも内容として含まれているが、「感染症マニュアル」を別に整備して誰もが見ることができるようにしている。実例に基づいて、取り組んだ内容をマニュアル化している。また、職員会議の際に、流行している病気についての説明や気を付けるべき対応方法について説明している。感染症に罹患した子どもについては、部屋を別にして過ごすなどで対応している。

③	39 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 災害時の対応体制が決められている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 立地条件等から災害の影響を把握し、発災時においても養育・支援を継続するために「事業継続計画」(BCP)を定め、必要な対策・訓練等を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子ども及び職員の安否確認の方法が決まられ、すべての職員に周知されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

年間で様々な事態を想定(地震対応の訓練、水害時の対応、防犯対策など)した避難訓練を実施している。年1回、消防署立ち合いのもとで行っている。火災発生時には緊急時に機械的に一斉発信ができる仕組みがある。それとは別に連絡網をつくり、連絡体制を整備している。しかし、発生時において支援を継続するための「事業継続計画」が定められていない。

2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の標準的な実施方法が確立している。		第三者 評価結果
①	40 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。 <input type="checkbox"/> 標準的な実施方法が適切に文書化されている。 <input type="checkbox"/> 標準的な実施方法には、子どもの尊重や権利擁護とともにプライバシーの保護に関わる姿勢が明示されている。 <input type="checkbox"/> 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。 <input type="checkbox"/> 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。	a ○ ○ ○ ○
【判断した理由・特記事項等】 乳児養育指針や生活・日課について記載された施設独自のマニュアルを基にして、養育・支援が実施されている。マニュアルは、各グループに設置している。新人研修の際にマニュアルに基づいてOJTを行うようにしている。2~3年目の職員に対して、人事考課制度を用いて実施方法を確認する仕組みがある。		
②	41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。 <input type="checkbox"/> 養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が施設で定められている。 <input type="checkbox"/> 養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に行われている。 <input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、自立支援計画の内容が必要に応じて反映されている。 <input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。	a ○ ○ ○ ○
【判断した理由・特記事項等】 マニュアルの見直しの規定が整備されており、それに基づいて見直しを行っている。運営上、必要な内容に応じて、職員より意見を聞いてマニュアルに反映する仕組みはある。		
(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。		
①	42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。 <input type="checkbox"/> 自立支援計画策定の責任者を設置している。 <input type="checkbox"/> アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。 <input type="checkbox"/> 部門を横断したさまざまな職種の関係職員(種別によっては施設以外の関係者も)が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。 <input type="checkbox"/> 自立支援計画には、子ども一人ひとりの具体的なニーズ、具体的な養育・支援の内容等が明示されている。 <input type="checkbox"/> 自立支援計画を策定するための部門を横断したさまざまな職種による関係職員(種別によっては組織以外の関係者も)の合議、子どもの意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。 <input type="checkbox"/> 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な養育・支援が行われている。	b ○ ○ ○ ○
【判断した理由・特記事項等】 自立支援計画の作成手順を定めており、多職種連携で、計画書立案ができるような仕組みを明確にしている。入所時に「入所時の手続き」というマニュアルや書式を揃えており、それをチェックするようにして「自立支援計画書峰山乳児院フェイスシート」に記載している。しかし、自立支援計画を立案後、保護者に確認してもらい、同意を得ることができていない。		

②	43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画どおりに養育・支援が行われていることを確認する仕組みが構築され、機能している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議に参加職員、保護者等の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 見直しによって変更した自立支援計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、養育・支援を十分に実施できていない内容(ニーズ)等、養育・支援の質の向上に関わる課題等が明確にされている。	○

【判断した理由・特記事項等】

自立支援計画の見直しを年3回実施している。立案、見直しは職員に周知している。マニュアルに沿って、見直しが必要な子どもに関しては、適宜行う仕組みになっている。

(3) 養育・支援の実施の記録が適切に行われている。

①	44 子どもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもの身体状況や生活状況等を、施設が定めた統一した様式によって把握し記録している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画にもとづく養育・支援が実施されていることを記録により確認することができる。	○
	<input type="checkbox"/> 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等、部門横断での取組がなされている。	○
	<input type="checkbox"/> パソコンのネットワークシステムの利用や記録ファイルの回覧等を実施して、施設内で情報を共有する仕組みが整備されている。	○

【判断した理由・特記事項等】

「アイリス」という記録システムを使用し、「発育記録」を記載し、職員間の情報共有ツールとしている。自立支援計画書の週の目標を記録用紙に明記し、それに沿った支援の記録が実施されている。記録方法の研修を主任が受け、職員に伝達している。勤務交代の際に日誌「引継ぎノート」を用いて申し送りを行っている。職員会議、グループ会議、リーダー会議で必要な内容については伝達している。

②	45 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a
	<input type="checkbox"/> 個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。	○
	<input type="checkbox"/> 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。	○
	<input type="checkbox"/> 記録管理の責任者が設置されている。	○
	<input type="checkbox"/> 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。	○
<input type="checkbox"/> 個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。	○	

【判断した理由・特記事項等】

「文書管理規定」に保管、保存、廃棄、持出しに対して規程されている。「個人情報取り扱いについて」というマニュアルに個人情報の開示請求について定めている。個人情報保護に関する職員研修は職員会議で行っている。

内容評価基準（23項目）

A-1 子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

(1) 子どもの権利擁護		第三者 評価結果
①	A1 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもの権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 権利擁護に関する取組について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。	○
	<input type="checkbox"/> 権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。	○
【判断した理由・特記事項等】		
倫理綱領、チェックリストを用いてグループ会議で権利擁護について周知するとともに確認をしている。全職員対象の研修や子ども向けのCAP研修を受講している。		
(2) 被措置児童等虐待の防止等		
①	A2 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりについて、具体的な例を示し職員に徹底している。	○
	<input type="checkbox"/> 会議等で取り上げる等により、不適切なかかわりが行われていないことを確認している。	○
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりの防止の視点から、職員体制の見直し等の検討・取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりがあった場合の対応方法を明文化している。	○
	<input type="checkbox"/> 被措置児童等虐待の届出・通告制度について対応マニュアルを整備し、研修会などで職員に周知・理解をはかっている。	○
【判断した理由・特記事項等】		
チェックポイントの読み合わせをしている。不適切なかかわりについて、子どもに対し、職員が大きな声を出すなどがあった場合等については会議にあげるようにしている。「被措置児童（虐待・体罰）への対応について」というマニュアルを整備してこれに沿って対応をするような仕組みがある。		

A-2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の基本		第三者 評価結果
①	A3 子どものこころによりそいながら、子どもとの愛着関係を育てている。	b
	<input type="checkbox"/> 乳幼児に対する受容的・応答性の高いかかわりを心がけている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもと養育者の信頼関係が築かれ、子どもが不安になった時など、いつでも応じられるように養育者が側にいるよう配慮されている。	○
	<input type="checkbox"/> どの乳幼児も保護者等、あるいは担当養育者、里親等、特定のおとなと個別のかかわりを持つことができる体制が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 特別な配慮が必要な場合を除いては、基本的に入所から退所まで一貫した「担当養育制」をとっている。	○
	<input type="checkbox"/> 担当養育者と個別のかかわりを持つことができる時間を確保している。	
	<input type="checkbox"/> 語りかけや「だっこ」「おんぶ」などの身体ふれあいを通して心の安定を図り、心地よい状態を共有できるよう努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 被虐待経験のある乳幼児等特別な配慮が必要な乳幼児に対しては、個々の状態に応じた関係づくりを行っている。	○
【判断した理由・特記事項等】		
特定の大人と個別の関わりを持つ体制が整備されている。養育の仕方の工夫で個別のかかわりの時間をできるだけ持つようになっているが不足していると認識している。		

②	A4 子どもの生活体験に配慮し、豊かな生活を保障している。	b
	<input type="checkbox"/> 日々の生活リズムは発達や子どもの気持ちに沿いながら一人ひとりにあった形で進められている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設に子どもが安心して暮らせる温かな家庭的雰囲気がある。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 居室が安心して、くつろいだり、落ち着ける場所になっている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 安定した環境の中、おもいおもいに遊ぶことができる安全で使いやすい遊具などがあり、自由に遊びに取り組めるよう配慮されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 他児と区別された「自分のもの」といえる玩具、食器、衣類、戸棚などの個別化が図られている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 満足感の得られる養育者との遊びの時間を提供している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 自然と触れ合える外遊びが養育者との十分なやりとりを交え提供されている。	<input type="checkbox"/>

【判断した理由・特記事項等】

個人の玩具箱やダンス等を用意して、個別化を行っている。職員スキルや自然と触れ合える場の確保ができていないと認識している。

③	A5 子どもの発達を支援する環境を整えている。	a
	<input type="checkbox"/> 養育者は、月齢による発達特性(自我の表出等)を認識し、養育に当たっている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 入所までの生活環境や身体的成長の差等から生じる子ども一人ひとりの違いを十分に把握し、尊重している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの子どもの欲求や要求に対し、抱いたり声をかけるなど、タイミング良く気持ちを受け止め対応している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもの個々の発達や状態に応じた適切な言葉を用い、穏やかに言葉かけをしている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 言葉を獲得し話し始めた子どもの問いかけには、できる限りその場で応答している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 「いや」など駄々をこねたり、自分を表現する力がまだ十分でない子どもの気持ちをくみ取ろうとしている。	<input type="checkbox"/>

【判断した理由・特記事項等】

年齢や発達特性に合わせた玩具を使用したり、遊びを提供するようにしている。部屋の中にサーキットを作るなどして、アクティブな遊びの工夫もしている。

(2) 食生活

①	A6 乳幼児に対して適切な授乳を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 授乳は、自律授乳を基本としつつ、個々のリズムや体調に合わせて量や時間を工夫している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 授乳時は、乳幼児を抱いて、目を合わせ、やさしく言葉をかけ、ゆったりとした気持ちで飲めるように配慮している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 授乳後は、吐乳・溢乳等を防ぐために排気を十分に行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 一人飲みをさせていない。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 生体リズムの乱れなどで自律授乳や自発的意思の授乳が難しい乳幼児には、その子の状態に応じた授乳を工夫している。	<input type="checkbox"/>

【判断した理由・特記事項等】

個々にあったリズムで授乳をするなど、心地よい授乳の時間になるように心がけている。

②	A7 離乳食を進めるに際して十分な配慮を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 在胎期間も含め、入所に至るまでの経過や発育、発達状況を踏まえ、一人ひとりに合わせた食の取組が行われている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 個々の状態に合わせて離乳を開始し、様々な食べ物や味に慣れさせている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 食事をいやがったり遊びだしてしまう場合にも、時間をかけてゆったりとした気持ちで与えている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 噛む力を養うために、食品の種類や調理方法を工夫している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 栄養士や調理員等は養育者とともに、咀嚼や嚥下の状況を確認し発育状況や体調を考慮しながら離乳食を進めている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

月齢によるマニュアルはあるが、個人差を意識して一覧表を作成し、食材の形態に工夫するなど配慮している。ユニットになってからは、ユニットで調理することもできてきている。

③	A8 食事がおいしく楽しく食べられるよう工夫している。	a
	<input type="checkbox"/> 食事場所は清潔に保たれ、明るく楽しい雰囲気でき食事ができるよう工夫している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもが食べやすいように、身体に合わせてテーブルと椅子の高さを適切に調整している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 乳幼児が自分で食べようとする意欲を育てられるように、手に持って食べやすいものを用意したり、食器やスプーンなどに触れられるように配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 食前の手洗い、食前食後のあいさつ、食後の歯磨きなどが定着するよう支援している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 養育者や他児と一緒に食事を楽しんでいる。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 食事の食べ方や量にばらつきがあっても全部食べることにこだわらず、おいしく楽しく食べられるように、子どもと視線を合わせ、様子をみながら言葉をかけるなど雰囲気づくりに気を配っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 日々の食生活を通じて食べたいものや好きなものが増える工夫がされている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> お腹がすくリズムが持てるよう、朝食・昼食・夕食の間隔は適正になっている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 栄養士、調理員等が、食事の様子をみたり、介助するなか、一人ひとりの発育状況や体調を考慮した調理を工夫している。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

テーブルの高さなどは個人差を見て配慮し、自身で食事できる促しができている。保育園に通っている子どもの生活リズムに合わせて、食事時間の調整に取り組んでいる。その日の体調に考慮した調理やメニュー変更を行っている。

④	A9 栄養管理に十分な注意を払っている。	a
	<input type="checkbox"/> 十分なカロリーと栄養のバランスよい献立が、栄養士により準備されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 栄養だけでなく季節感を取り入れた食事が提供されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の体調、疾病、アレルギー等に個別に対応した食事を提供している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の嗜好や栄養摂取量の把握に努め、献立に反映している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> ささまざまな「食育」への取組を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 発達に応じて、食事の準備や食事作りを見たり、かかわる機会を持ち、食べることに興味関心を持つことができるよう工夫している。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

行事の際などには、キャベツを子どもが切ったり、ブレンダーで野菜を作り、収穫して調理の一部分を行い、調理に関わる場面を作っている。調理の仕上げをユニットで行うことで、匂いを感じることもあり、工夫を凝らしている。

(3) 日常生活等の支援

①	A10 気候や場面、発達に応じた清潔な衣類を用意し、適切な衣類管理を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 衣類は吸湿性・通気性に富み、清潔を保ち、肌に刺激の少ない材質を使用している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の体型を考慮し、活動を阻害せず、着脱が容易なものを使用している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 気候調節へ配慮し、寒暖の状態に適した枚数と厚さにしている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 寝ている生活が主などときは前開ぎひもひもを、動きが活発になったら活動的で腹部や背中に出ないものを選ぶなど、生活実態に適し、個々の発達に応じた衣類管理を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 衣類は個別化し、個人別に収納している。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

個々に合わせた衣類を用意している。床暖房を完備して保温に努めている。衣類は保護者が用意する場合もあるが、担当が購入したり、寄付でいただく衣類を活用している。個人別の保管もしている。時には一緒に洋服を買いに出かけたり、本人が着たいものを選択して着るようにしている。

②	A11 乳幼児が快適に十分な睡眠をとれるよう取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 室内の環境として、温・湿度、換気、明るさ、静かさ、音楽などを快適に保っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 寝具の環境として、肌に触れる素材は綿素材を用い、広さ、形状、硬さなどを快適に保っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 睡眠時の状況を観察している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 快適に十分な睡眠をとれるよう、個々の乳幼児の発達・心理に配慮した職員の対応など具体的な独自の取組を行っている。	<input type="radio"/>	

【判断した理由・特記事項等】

15分おきにチェックをするなど、ベビーセンスの使用を徹底している。肌に合わせた寝具の用意、湿・温度等のチェックによる環境の調整をしている。夜勤者は、子どもが見えるところにしているようにしている。

③	A12 快適な入浴・沐浴ができるようにしている。	a
	<input type="checkbox"/> 入浴・沐浴を毎日している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 浴室・沐浴槽などの設備やタオル・バスタオルなどの備品は常に清潔が保たれている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の年齢、発達、発育等、個々の状況に応じた入浴方法がとられている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 安心して、心地よく、楽しい入浴・沐浴になるような言葉掛けなどの配慮がなされている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 入浴・沐浴に際し、おもちゃ等を用意し、心地よい体験になるよう工夫している。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

個々の状況に応じた入浴方法としている。職員と入浴するなど、心地よく・楽しい入浴ができるようにしている。入浴は午後からとし、幼児は寝る前に入浴できるようにしている。基本的には少人数で入浴できるようにしている。虐待などで最初は入浴を拒否していた子どもには浴室におもちゃを準備するなどして、楽しい時間と思える工夫をしている。毎日入浴できるようにしている。

④	A13 乳幼児が排泄への意識を持てるように工夫している。	a
	<input type="checkbox"/> おむつ交換のときに、言葉をかけながら身体をマッサージなどして、おむつ交換が心地よいものであることを伝えるように心がけている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 発達段階に応じて、排泄への興味を持てるように配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 発達段階に応じて、おむつが濡れていないときは、便座に誘導するなどして自分から便座に座る意欲を持てるように配慮している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 発達段階に応じて、個々の幼児のリズムや気持ちに合わせて誘導を行っている。	<input type="radio"/>	

【判断した理由・特記事項等】

居室にトイレが配置されており、個性に合わせた排泄ができるようになっている。乳児の部屋にもトイレがあるため、発達に応じた排泄の促しができる。

⑤	A14 発達段階に応じて乳幼児が楽しく遊べるように工夫している。	a
	<input type="checkbox"/> 玩具の色・形や音色などを選ぶように工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 戸外に出かけ、外界への興味を広げられるように配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 模倣遊びや職員や他の乳幼児とのふれあい遊びを通して、情緒の育成を図り、人との豊かなかかわりができるように配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育者や他の子どもと楽しく遊ぶことができるよう心がけている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの五感を育てる遊びが提供できるよう工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 月齢により、収納場所を設け、玩具の個別化をし、自分の物という喜びや認識ができるよう工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの手の届く所に玩具の収納場所を設け、年齢によっては自由に出し入れして遊べるようにしている。	○

【判断した理由・特記事項等】

玩具を常時置いておくことができる環境で、個別に満足感を得ることができる環境で遊びを完結することができる。玩具を個人のおもちゃ入れをつくり、遊べるようにしている。

(4) 健康

①	A15 一人ひとりの乳幼児の健康を管理し、異常がある場合には適切に対応している。	a
	<input type="checkbox"/> 健康観察記録を作成し、日々の健康状態の変化が一目で把握できるように工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 日常的に医療機関等と適切に連携するよう努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 嘱託医による定期健康診断では、身体発育の状態や精神・運動発達・情緒的問題等について総合的な診察を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の条件や集団の構成に応じて、適宜予防接種を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 異常がある場合には、医療機関を受診するなど適切に対応している。	○
	<input type="checkbox"/> ミルクや離乳食を開始した当初は、発疹などアレルギー症状の出現に注意し、異常所見が見られた場合には速やかに医師に相談し対応策を講じている。	○

【判断した理由・特記事項等】

毎日2回の検温を行い、発育記録や申し送りの健康の欄に記載し、職員、リーダーが確認している。定期健診、予防接種などを行っている。アレルギーのある子どもには、医師と連携を取っている。

②	A16 病・虚弱児等の健康管理について、日常生活上で適切な対応策をとっている。	a
	<input type="checkbox"/> 病・虚弱児等個々の健康状態の変化が、常に把握できるように工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 服薬管理表等により、適切な服薬管理を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 専門医や主治医の協力のもと、乳幼児の健康状態に応じた療育計画や発達支援計画などを含む支援のプログラム等を作成して、乳幼児の適切な発達を支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 専門医や主治医による定例的な診断を受けている。	○
<input type="checkbox"/> 異常所見がみられた場合には、速やかに専門医や主治医に相談できる連絡体制をとっている。	○	

【判断した理由・特記事項等】

発作を起こす可能性のある児童のカルテは別にして、記録がしやすいように工夫するなど、個別対応をしている。誤薬が無いように、声を出して読み上げてから服薬させるなど工夫している。医療関係機関との連携を図っている。

(5) 心理的ケア

①	A17 乳幼児と保護者等に必要な心理的支援を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 心理的支援を必要とする乳幼児について、保護者等への支援も視野に入れた自立支援計画や養育計画に基づき、心理支援内容が明示されている。	○
	<input type="checkbox"/> 心理支援内容には、個別・具体的方法が明示されており、その方法により心理的支援が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 心理職をおき、乳幼児にも保護者等にも心理的援助を行える体制が整っている。	○
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて外部の専門家から直接的支援を受ける体制が整っている。	○
	<input type="checkbox"/> 心理的ケアが必要な乳幼児や保護者等への対応に関する職員研修やコンサルテーションが行われている。	○

【判断した理由・特記事項等】

公認臨床心理士を配置しており、乳幼児への心理支援を行っている。保護者への支援については必要があれば、外部の専門家に相談できる連携体制があるは十分でないと認識している。

(6) 親子関係の再構築支援等

①	A18 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	a
	<input type="checkbox"/> 家庭支援専門相談員が中心となって施設と家族との信頼関係を構築するように努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設が家族と共に子どもの成長を喜び合う雰囲気大切にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 面会時に必要に応じて保護者等の養育スキルの向上を支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 保護者等の相談に積極的に応じるための保護者等面接の設定等、専門的なカウンセリング機能の充実に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 家庭支援専門相談員は、家族に寄り添い、保護者等の言葉を傾聴する役割を担っている。	○
	<input type="checkbox"/> 乳幼児の協働養育者として、日常生活の様子を写真やお手紙に書いて家族に伝えている。	○

【判断した理由・特記事項等】

面会時に養育スキルの向上の支援をしている。面会に来ることができない保護者には、写真や手紙で様子を伝えるようにしている。離乳食の作り方や食べさせ方、入浴方法の指導を保護者にするようにしている。また、親子で宿泊するなどして、段階的に自宅でも養育できる環境を作っている。

②	A19 親子関係再構築等のため、家族への支援に積極的に取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 家庭支援に関する具体的なプログラムや配慮事項が明記されている。	○
	<input type="checkbox"/> 入所理由の理解とケアの方向性についてアセスメントしている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもと家族との関係調整については、定例的かつ必要に応じて児童相談所等と協議を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 面会、外出、施設宿泊、一時帰宅などを計画的に設定し、乳幼児と保護者等との関係性が好転し、保護者等の養育意欲が向上するよう支えている。	○
	<input type="checkbox"/> 面会、外出、一時帰宅後の乳幼児の様子を注意深く観察し、家族からの不適切なかかわりがあった場合には、その発見ができるように努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 課題の内容によっては適切な機関につなげられるよう、地域の精神、心理相談のできる機関を十分に把握し、連携をとっている。	○
	<input type="checkbox"/> 児童相談所を中心とした他機関との協働により、虐待の未然防止と家族機能の再生、親子関係の再構築に向けてのサービス資源の提供などのソーシャルワークを行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

精神・心理相談のできる機関の紹介は児童相談所を通じて行っている。社会資源のリスト化を行い、連携を図っている。段階的に子育てができる環境を作り、帰宅支援をしている。小児科の医師や施設の臨床心理士に普段の生活を継続する大切さについて意見をもらっている。

(7) 養育・支援の継続性とアフターケア

①	A20 退所後、子どもが安定した生活を送ることができるよう取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもの退所先に応じて、退所後の生活に向けて必要な支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 退所後、施設に相談できる窓口(担当者)がある等、必要に応じた支援をするための体制を整えている。	○
	<input type="checkbox"/> 児童相談所や関係機関、民間団体等と連携を図りながら退所後の支援を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

退所後のマニュアルや引継ぎ書を作成しており、定期的な訪問や関係機関との連携体制を図っている。

(8) 継続的な里親支援の体制整備

①	A21 継続的な里親支援の体制を整備している。	a
	<input type="checkbox"/> 養育単位の小規模化による家庭的養護の推進や、早期に家庭復帰が見込めない乳幼児には個々の状況に応じて里親委託を推進している。	○
	<input type="checkbox"/> 里親委託の推進に当たり、里親支援機能の充実などの中・長期計画を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 里親支援専門相談員を配置するなど、里親委託の推進、地域の里親及びファミリーホームに対する継続的な支援の体制を整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 里親委託に当たり、委託に至るまでに里親・児童相談所等と丁寧な連携を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 里親を希望する地域の人を対象に相談を行うなど、支援の取り組みを行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 相談支援のほか研修、レスパイトを行うなど、里親の状況に応じた取り組みを行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

「里親支援専門相談員」を施設として配置しており、京都府の里親支援員としても活動している。エリア担当があり、エリアごとに引継ぎを行う仕組みになっている。里親側の支援としてレスパイト機能の仕組みをもっている。院長が里親支援の京都府の役員をしており、法人として里親に関する中長期的な計画も立案している。

(9) 一時保護委託への対応

①	A22 一時保護委託を受ける体制が整備され、積極的に受け入れを行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 児童相談所と連携して、初期の情報共有とアセスメントに努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 一時保護を受ける際の手続きが整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 入所時の健康管理に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 感染症やアレルギー等の観察と配慮に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 多様な職種が連携・協働し、一時保護後の養育環境(家庭復帰・里親、児童福祉施設等)の確保に向けてアセスメントに基づく支援を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

「一時保護及び緊急一時保護」のマニュアルを整備している。ほとんど情報がないまま、児童相談所より受け入れるケースもある。一時保護委託は基本的には2ヶ月と決まっているが、7ヶ月に及び措置になるケースもある。

②	A23 緊急一時保護委託を受ける体制が整備され、積極的に受け入れを行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 児童相談所から緊急一時保護を受け入れている。	○
	<input type="checkbox"/> 緊急一時保護を受ける際の手続きが整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 観察室での「観察期間」の実施を順守して対応を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 入所時に、必要に応じて医療機関との連携をはかる等の対応を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 感染症や潜伏期間等への対応が十分にできている。	○
	<input type="checkbox"/> 受け入れ後の多職種による連携したアセスメントが実施されている。	○

【判断した理由・特記事項等】

「一時保護及び緊急一時保護」のマニュアルを整備している。乳児院で受け入れが難しい場合に里親が受け入れてくれるケースもあり、連携ができています。感染症の場合にも別部屋で対応して受け入れている。